

## 第4回別海町自治推進委員会 概要

開催日時：平成27年12月22日（火）午後1時30分から午後2時40分まで

開催場所：別海町役場 1階 103・104会議室

出席人数：9名（欠席3名）

### <会議次第>

#### 1 開 会

#### 2 議 事

報告第1号 視察研修を終えて

議案第1号 平成28年度に向けて

#### 3 閉 会

### 1 開 会

### 2 議 事

#### <報告第1号 視察研修を終えて>

平成27年11月6日に行った「釧路市民活動センター わっと」視察研修について事務局から概要を報告し、研修に参加した委員から補足や意見を求めた。

#### 委員長

まず、参加した方からお話を伺いたい。

#### 委員

- ・「わっと」設立当初は、職員も相談者も少なく、イベントを開催するにしてもテントを借りていたという話を聞いている。今は大きな施設で、備品も職員も備わっており、活動が徐々に浸透しているとのことだった。別海町では、まず団体を掌握し、集まる場所が必要だと思う。
- ・「わっと」では、子育てや福祉などの細かい分野別に活動団体の資料が置いてある情報コーナーが設けられていた。これは別海町には無いものだったと思った。  
また、高校生や大学生に施設のことを知ってもらい、活動に巻き込んでいきたいとの話が聞けた。地域の将来を担うのは若い人なので、素晴らしい取り組みだと思う。
- ・別海町では、ぷらと、マルチメディア館、公民館など、小さな施設が分散していて、100%活用できていないと思う。別海町でも皆が使える設備を一カ所に集約できる場所があるといい。
- ・「中間支援センター」というものがイメージできていなかったが、今回の研修でわかった気がする。別海町も公民館では印刷機を貸してくれているが、今後、その一歩先の施設を期待したい。

#### 委員長

参加できなかった方から質問はあるか。

#### 委員

「わっと」は民間が作り上げたものなのか。

## 事務局

民間の方々が協議会を作って立ち上げたそうです。現在は、市民活動センターとして行政から施設運営の委託を受けています。

## 委員

色々、寄付されたものを使っているとのことだが、「わっと」のような法人は、いくらでも寄付を受けていいのか。上限なく寄付をいただいても運営できるのか、法人として問題ないのか知りたい。

## 委員長

一般の法人ならば「自分の商売で儲けましょう」という考え方で理解しやすいが、NPO法人と一般社団法人は非営利法人。この二つの違いは、なかなか理解が難しいと思う。

## 事務局

非営利については、利益を配分するか、しないかという点で判断されています。

寄付の特例については、認定NPO法人になると、収入の中で控除する優遇措置があります。

## 委員

事務職員を置いても、十分な給料を払えないというのが現状だと聞いた。「わっと」のような法人を作らずとも、違う形で支援できることがあると思う。

例えば、印刷機を安価で使用できるようにする支援は、公民館、社会福祉協議会、商工会などが今すぐにも取り組めるのではないか。

## 委員長

法人を立ち上げてもらうことが目的ではなくて、「協働のまちづくり」に係る活動団体が増えてくれることが目的だと思う。団体の立ち上げ支援について、行政でも行政以外でも、まとめてくれる所があれば良いと思う。

## <議案第1号 平成28年度に向けて>

資料を用いて、次年度の予定概要を説明。「自治基本条例の運用状況報告書」を基に町民参加の状況を確認し、意見書を作成する予定。検討課題に反映させていくことも踏まえて、委員からの意見を求めた。

## 委員長

具体的な要望があれば課題を絞るなどしたい、とのことだが、今この場で意見を出すのは難しいと思う。次回は来年7月頃の予定なので、それまでに気になることがあれば事務局に提出して欲しい。

その他、委員から意見があれば伺いたい。

## 委員

- ・来年度も4回開催とのことだが、何をどうやっていくか、もう少し議題を絞っていただきたいと思う。
- ・視察研修等の報告をここだけで話すよりは、例えば広報の記事でお知らせするのも良いと思う。
- ・我々が支援活動団体を作ることではないが、自分たちが支援活動団体として動けないか。人材育成の前に、自分で実践してみて、できることもあるのではないか。

### **委員長**

自治推進委員だから支援活動団体を作らなければならない、ということではないが、少子高齢化の社会で、そういう団体は必要だと思う。

任期は残り1年だが、良い方向に向かっていけるように委員の皆さんにはお知恵を拝借したい。

## **3 閉 会**